



## 修学旅行を終えて

3学年所属 芳村 ひとみ 教諭

5月29日（火）から5月31日（木）まで、「WA ～和話輪～」をスローガンに、青森・秋田をゆつたりの行程でまわってきました。1日目は朝5時5分に手稲駅という極めて早い集合でしたが、これから始まる修学旅行への期待からかみな元気いっぱい集合し、JRや新幹線の中ではトランプやゲームで終始楽しく過ごしていました。

1日目は青森・種差海岸にて震災学習を行ったのち、初夏の日差しでキラキラと輝く美しい奥入瀬溪流を歩いて十和田湖に入り、遊覧船へ。初めて遊覧船にのった子どもたちも多く、席には座らずずっとデッキで写真を撮りながら交流する姿がほとんどでした。

2日目は前日と違う道を通って十和田湖へ向かいました。朝露でしっとりとした森の中を歩き、厳かな神社を抜けた先には乙女の像が立っており、像と同じポーズで写真をとったり、湖畔でくつろいだりしていました。その後は、今回の見学地の中でも子どもたちに一番人気となった明治時代から続く芝居小屋の康楽館でした。昔ながらの笑いを交えた大衆演劇と、現代的な音楽と照明に彩られての舞踊ショーには、すっかり心を奪われた子どもたちが多く、その日の「思い出の川柳」では康楽館のことが1番多く題材になっていました。その後は津軽伝承工芸館で体験学習をし、ホテルにてねふた運行体験を行いました。あいにくの雨で室内での開催となりましたが、全員が笛や太鼓や跳人などそれぞれの役割を担い、1つのものを創り上げることができたので、とても良い体験となりました。

よく学び、よく遊び、よく食べ、よく寝た充実の2泊3日でしたが、何より学年の仲の良さが随所ににじみ出た旅行となりました。この仲間で過ごすのもあと9か月余りです。今後も仲間を大切にしながら、中学校生活のしめくくりに向けて、66人全員がベストを尽くすことを願っています。

## 宿泊学習を終えて

2学年所属 今渡 基成 教諭

5月21日（月）から2日間、宿泊学習に行ってきました。2日間とも天気に恵まれ、すべての日程を終えることができました。1日目は班を中心とした活動でした。旭山動物園では各班が自分たちのテーマに基づいて調べ、いろいろな角度から見学したことをまとめました。トリックアート美術館では写真コンテスト用の写真を工夫しながら撮り、インパクトのある作品ができました。どの班もチームワーク良く、協力する大切さを学ぶことができたと思います。ホテルでは実行委員会が企画した学年レクを行い、さらに学年の一体感も増すことができました。

翌日の朝、朝食集会の中でホテルの人から子ども達の行動について素敵な言葉をいただき、2日目も気持ちよくスタートすることができました。2日目のメインは「はるちゃん農園」での田植え体験です。長沼の大自然をバックに慣れない手つきで苗を植え、農業の大変さを肌で感じ、その後の昼食では感謝の気持ちをもってたくさんご飯をおいしく食べることができました。

今回の宿泊学習を通して、学年目標である“Bluebird” 幸せを呼ぶ青い鳥のように自分たちの活動や行動で周りの人々に幸せを届けることができたことが最大の収穫です。これからの日常の活動や来年度の修学旅行にこの経験を生かして、さらに飛躍していく姿を楽しみにしています。

## 校外学習を終えて

1学年所属 深村 洋巨 教諭

6月7日(木)、1年生最初の行事「校外学習」が終わりました。「雑草魂」をスローガンに、班や係で準備を進め、当日を迎えました。買い物に行ったり、かまどを作ったり、食材を切ったり、お米を炊いたり、それぞれが自分の仕事を一生懸命やっていました。出来の方は、予定通りにすべての班が料理を完成させることができました。満足のいくカレーができました。その後の片付けも、テキパキと進めていた人が多かったです。時間も予定通りに進みました。片付けが終わっても、周りを見てゴミを拾っている人、洗い場に行って手伝う人、班の持ち物を確認していた人などがいたことが素晴らしかったです。

良かった点は、校外学習全体を通して、1年生全体に楽しもうという雰囲気、姿勢があったことです。天気も良く、笑顔で楽しそうに調理していました。総務係が計画したレクも、みんなでゆっくり楽しめました。中学校最初の行事を大切にしたい、成功させたいという気持ちを感じました。

今回の校外学習では、学校ではできない大切な体験をすることができました。受け入れてくれたホクレンショップの方、前田森林公園の方、カメラマンさんにアドバイスをもらった班もありました。校長先生に調理を手伝ってもらった班もありました。いろいろな人の支えや協力があって、この行事が成功しました。感謝の気持ちを忘れずに、さらに成長していく姿を楽しみにしています。

## 中体連壮行会



6月15日(金)に生徒会主催による中体連壮行会が行われました。各部の選手が熱い想いをステージ上で述べ、全校生徒が応援団と共に3・3・7拍子で選手たちを激励しました。また生徒会から健闘を願って各部長へミサンガが渡されました。

中体連の大会日程は種目によって異なり、数週に渡って開催されています。選手の皆さんの全力プレーを期待します。なお、部員以外の生徒の応援は禁止されていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



## 7月の行事予定



- 1日(日) 中体連柔道・バドミントン地区大会
- 2日(月) 局・常・生徒協議会
- 5日(木) 家庭訪問・期末懇談(～11日)完全下校  
《諸費再引き落とし》
- 7日(土) 中体連剣道・バスケットボール大会(～8日)
- 14日(土) 中体連バスケットボール全市大会(～15日)  
中体連バドミントン全市大会(～16日)
- 16日(月) 海の日
- 20日(金) 北中体育の日
- 23日(月) 清掃強化日
- 24日(火) 北中体育の日予備日※部活動休養日
- 25日(水) 1学期終業式
- 26日(木) 夏季休業(～8/26)

## 6月学校徴収金について

6月28日(木)に、学校徴収金が引き落としになります。前日までにご入金をお願いいたします。

- 1学年 7,099円(第2子 6,326円)
- 2学年 7,064円(第2子 6,291円)
- 3学年 7,818円(第2子 7,045円)
- 5組 6,063円

## お知らせ※札幌市学校体罰事故調査委員会について※《札幌市教育委員会より》

札幌市教育委員会では、体罰事故調査委員会を設置しています。この委員会の目的は、体罰事故に関する調査の透明性及び公平性を確保し、事実関係をできるだけ正解に調査することです。

**体罰とは** 児童生徒に対し、殴る・蹴る等、身体に直接痛みを与える行為や、正座や直立等の姿勢を長時間にわたって保持させる等、肉体的苦痛を与える行為をいいます。ただし、放課後等に教室に残留させる、立ち歩きの多い生徒を叱って席につかせる、暴力行為を止めようとしておさえつける等の行為は体罰ではありません。

**体罰事故調査委員会とは** 当該校以外の校長、PTA役員(元役員含む)及び第三者からなる委員会です。今後、学校において体罰事故が発生した場合、この委員会の委員立ち会いのもと、教員、児童生徒及び保護者並びにその関係者から話を聞きます。もちろん学校として体罰が起きないように万全を尽くしてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。また、札幌市教育委員会では体罰の相談専門の窓口を設置しております。

**体罰電話相談窓口**

(011) 272-6034 ※専門の相談員が対応します。

受付時間:平日 10:00～17:00(土・日・祝日は除く)